令和3年3月29日 開業企画課 紙谷、朝井 内線 3622、3626 直通 076-225-1317

『「加賀の國」の魅力発見フォトコンテスト 2020』 入賞作品の決定について

北陸新幹線県内全線開業に向けた気運の醸成を図るため実施した、新幹線延伸地域の南加賀6市町を舞台としたフォトコンテスト(募集期間:令和2年10月30日~令和3年1月21日)の入賞作品が決定しましたので、お知らせします。

1. 募集内容

【北陸新幹線部門】県内全線開業に向けての延伸工事の様子や、延伸地域を走る 新幹線から見えるであろう風景等をテーマとし、開業後の 加賀の國の未来を感じられるような作品を募集する部門

【風 景 部 門】南加賀の美しい風景や景観など、自然の魅力を感じられる作品を募集する部門

【おすすめ部門】南加賀の住民や観光客がおすすめする南加賀のもの・場所・ ことを広く募集する部門

2. 応募総数 968点

3. 選考方法

フォトコンテストを運営する東京カメラ部株式会社及び石川県で選考

4. 入賞作品

3部門でそれぞれ最優秀賞1点、優秀賞2点、入賞2点、合計15点の入賞作品を決定(詳細は別紙のとおり)

入賞作品は下記サイトからご覧いただけます。

https://ishikawa.tokyocameraclub.com/contest2020/results/

5. 入賞作品の活用について

入賞作品を県のアンテナショップで展示するなど、全線開業をPRするツール として活用

6. 問い合わせ先

石川県企画振興部開業企画課

〒920-8580 石川県金沢市鞍月1丁目1番地

電 話:076-225-1317

『「加賀の國」の魅力発見フォトコンテスト』 入賞作品

北陸新幹線部門

最優秀賞

白山より高く! (奥村佳子)



手取川橋りょうと白山(川北町)

※以下の順に掲載

作品タイトル(応募者名) 作品 撮影場所等(市町) 受賞者による作品解説

<受賞者による作品解説>

新幹線の車窓からの風景も想像しながら手取川橋りょう越しの場所を選び、「白く輝く白山と撮りたい」と、真冬の快晴を待ち続けてようやく撮影できた一枚です。橋上では新しい架線柱を立てる工事が進行中で、撮影場所から見上げると、まるで架線柱を吊り上げるクレーンのアームが白山より高いかのように見えます。様々な工事の過程と共に、開業へ向かう期待も高まります。

優秀賞

未来へ繋ぐ(南 喜則)



北浅井交差点の架橋工事(小松市)

<受賞者による作品解説>

当時、妻のお腹の中にいた子が成長しこの高架橋を見た時に、この橋はたった一晩でこの大きな橋が架かったこと、その歴史的な出来事を三人で観に行った事を息子に伝えたくて夢中で撮った写真の中のお気に入りの一枚です。加賀の國にとって未来へと繋がる橋であり、自分にとっても未来へと繋がる夜となった時の写真です。

優秀賞

木場潟の夕焼け(くになか SS25s)



木場潟北公園からの高架橋(小松市)

<受賞者による作品解説>

地域の憩いの場「木場潟」では、普段からたく さんの方がランニングやお散歩など体を動か しています。冬の北陸は晴れる日も少ないです が、貴重な晴れ間を逃すまいとこの日も多くの 方が体を動かしていました。「ランナーが走る 近くで新幹線も走る」その風景が見られる日を 楽しみにしています。

入賞

高架橋の間から覗く白山(西原健)



梯川橋りょうの間から見える白山(小松市)

<受賞者による作品解説>

近所の散歩コースの橋から見える白山で、高架橋が完成すると山が見えなくなるので、その前にこの景色を残そうと思い撮影した一枚です。ここからはもう白山を望めなくなるのは寂しいですが、高架橋を走る北陸新幹線からは、多くの人が、私が見ていたこの綺麗な白山を眺めることを想像すると、少し誇らしい気持ちになります。

入賞

北陸新幹線の車窓から (Kazuyoshi Maeda)



加賀市動橋町からの高架橋と白山(加賀市)

<受賞者による作品解説>

白い山と書いて白山と言う様に、白く雪化粧された白山はとても美しいですね。白山と被ってしまって分かりにくいですが丁度コハクチョウの飛来シーズンでもあって青く晴れ渡った空に白山と優雅に飛んでいたコハクチョウの姿はとても綺麗でした。北陸新幹線が開通した時にはこの素晴らしい白山の姿を是非車窓から眺めてみてください。

風景部門

最優秀賞

Re-start (中西未彩季)



加賀市勅使町の桜並木(加賀市)

<受賞者による作品解説>

加賀市は海と山に囲まれ、この並木道の様な壮大な四季を感じられるスポットが多くある魅力的な地域です。コロナによる不安やストレス、滅入ってしまっている気持ちを全てリセットできるよう、春はリスタートの時期なのでそういう意味を込めて撮影しました。偶然被写体として映っている方が、先へ続く未来(長い桜並木の先)へ向かっているようなイメージを意識しています。

優秀賞

懐かしの鶴来駅 (@hideki2448)



鶴来駅(北陸鉄道石川線)(白山市)

<受賞者による作品解説>

金沢市内の北陸鉄道・石川線「野町駅」から約30分、終点の「鶴来駅」です。10年程前は加賀一の宮駅(白山比咩神社・表参道付近)まで乗る事ができました。駅舎、街並みもレトロ感いっぱいです。足を運んでみてはいかがでしょうか。鶴来街道の宿場町、白山比咩神社や金劔宮の門前町です。

優秀賞

憩い (笹尾康弘)



布市神社(住吉の宮)(野々市市)

<受賞者による作品解説>

本作品は 1000 年以上の歴史を持つ布市神社で撮影しました。家族連れや近くの保育園の子供達が次々と神社に訪れ、境内は賑やかな笑い声で溢れていました。今回の受賞を通じて、地元民の憩いの場として愛される布市神社の魅力を、多くの方々に発信出来ますことを大変嬉しく思います。

入賞

光射して (オレンジ金魚)



蟹淵手前のせせらぎ (能美市)

______ <受賞者による作品解説>

神秘的な青緑色の淵、初夏には絶滅危惧種のルリイトトンボが乱舞し、天然記念物のモリアオガエルの鳴き声、希少植物のカンガレイやヒツジグサの花が咲きみだれる聖なる領域、蟹淵。そこにたどり着くまでの道も素晴らしく、まるで海の底に沈んで太陽を見上げているよう。山、海、光、風、動植物、愛してやまない石川の自然の恩恵あっての受賞、大変嬉しいです。

入賞

海のまほろば(吉田恭章)



加佐の岬(加賀市)

<受賞者による作品解説>

加佐岬灯台のある加佐の岬は、加賀海岸で最も 日本海に突き出した岬で、高さ 30m 程の断崖 に白亜の灯台が美しいコントラストを描いて います。幻想的な森のトンネルを抜けると森か らは想像もつかない絶景が表れます。北陸新幹 線で金沢を観光し、加賀の温泉地に宿泊し加佐 の岬で潮の香りに是非癒されてみたらいかが でしょうか。

おすすめ部門

最優秀賞

Fluorescent color tunnel (bbkaorun)



尾小屋鉱山資料館(小松市)

<受賞者による作品解説>

ブラックライトに照らされたカラフルな坑道は異世界に入り込んだような不思議で楽しい 空間で、観光から学習までできる整備された施設になっています。北陸新幹線石川県内全 線開業に向けて、この写真を見ていただいた皆さんに加賀の魅力をお伝えできればと思っ ています。

優秀賞

夫婦と白山 (Kentaro Kanda)



木場潟公園 (小松市)

<受賞者による作品解説>

小松市の木場潟公園西園地にある展望休憩所は、木場潟越しに日本三名山のひとつである白山の雄大な景色を眺められるスポットです。穏やかな冬晴れの日に展望休憩所から白山を眺めている夫婦の背中を冬の木場潟公園の1コマとして切り取りました。6年前の全国植樹祭では、当時の天皇皇后両陛下もこの展望休憩所から白山をご覧になられました。北陸新幹線の開業後には、ぜひ多くの観光客の方に訪れていただけるスポットになれば嬉しく思います。

優秀賞

華の化身(西花優希)



山代大田楽 (加賀市)

<受賞者による作品解説>

山代温泉では、一度は姿を消した古典芸能「田楽」を今風に復活させた「大田楽」を見ることができます。なんだか日本じゃないような異様で幻想的な空間を楽しめるのが特徴です。この写真は、一際目立つ格好で小雨の中出番を待ち、佇む少女をおさめたものです。新幹線開業により、地域の伝統文化をさらにいろんな人たちに知ってもらえたら嬉しいです。

入賞

水鏡に映る秋景色 (田中由加里)



那谷寺 (小松市)

<受賞者による作品解説>

秋晴れの日に那谷寺散策中に湖面に映る奇岩 遊仙境と青空と紅葉の鮮やかなハーモニーに 感激しシャッターを切りました。四季を通じて 様々な景色を楽しめるこの場所は、かつて松尾 芭蕉が訪れて句を詠んでいる事から「おくのほ そ道の風景地」の一つとして国の名勝にも選ばれています。北陸新幹線が小松駅に停車するこ とで那谷寺へのアクセスも容易になります。松 尾芭蕉に想いを馳せながら散策してみてはい かがでしょう。

入賞

癒しの清流(斎藤俊治)



鶴仙渓 (加賀市)

<受賞者による作品解説>

山中温泉街を流れる鶴仙渓は宿泊して部屋から眺める景観も良いし、清流の小路を散策するも良し、清流の流れに癒されます。春は桜、夏は新緑、秋には紅葉そして雪の小路と四季を通じて楽しめます。また、カモなどの野鳥やイトトンボにも出会える自然豊かな清流です。散策路には川床もあり休憩しながらゆっくり散策出来ます。